

日々の田高（合宿の様子1）

7月19日から21日まで、女子硬式テニス部、ダンス部、吹奏楽部が長野県、菅平高原にて合宿を行いました。

吹奏楽部は、8月中旬に行われるコンクールに向けての練習を集中的に行います。顧問の先生からは、曲を完成するにあたり、「どう練習をすればいい？」と投げかけられ、生徒たちが応え、一音一音丁寧に吹くことの大切さの説明や、その場面をどのようにイメージしているか生徒が話すなど、生徒たちが一体となって練習をしていました。



ダンス部は、ぼろにあ祭に向けての練習に熱が入っています。私が訪問した際には、部長さんが、考えた振りを皆で行うワークショップを行っていました。初めて示された結構難しい振りであるにもかかわらず、1時間後に全員が揃っていて、驚かされました。



女子硬式テニス部は、久しぶりの合宿です。経験者と初心者に分かれてそれぞれの目標に向けて、基礎練習から実践練習まで着実にこなしていました。



生徒たちは、疲れが見えつつも、今回の合宿で、心や身体ともに自信がついたような清々しい表情をしていました。

生徒の皆さん、顧問や部活動指導員の皆様、お疲れ様でした。

せっかく、菅平まで来たので、嬬恋村の鎌原観音堂によりました。

ここは、天明3年の浅間山大噴火により、浅間山からの土石なだれにより、あっという間に、鎌原村が5～6メートルの土砂に埋め尽くされ、当時の村民の85%が亡くなられた場所です。

昭和54年の発掘で、観音堂に、上がる階段は50段あり、上部の15段は、残ったものの、下部の35段は土砂に埋まり、階段がはじまるところで、女性二人の遺骨が見つかりました。日本には、活火山が111あり、常時監視している火山は50あると言います。



下の地面が、浅間山の噴火による土石なだれで埋まった地面。奥の石段が観音堂にあがる石段。



鎌原地区を歩いていると、小さいカエルさんがありました。